

報告事項No. 2

会 議 録

会 議 の 名 称		令和4年度 第1回守谷市保健福祉審議会健康づくり分科会
開 催 日 時		令和4年6月28日（火） 開会：午後1時30分 閉会：午後3時00分
所管課		保健福祉部 保健センター
出席者	委 員	塩澤会長，埤本委員，萩原委員，飯塚委員，小川委員，金沢委員 計6名
	そ の 他	
	事 務 局	新島所長，染谷所長補佐，佐藤係長，亀崎係長，石福係長，大川係長 計6名

審 議 経 過

1	開 会
2	会長あいさつ
3	自己紹介
4	報告事項 (1) 第二次健康もりや21計画令和3年度取組実績について (2) 第二次守谷市食育推進計画令和3年度取組実績について (3) いのち支える守谷市自殺対策計画令和3年度取組実績について (4) 第三次健康もりや21計画について 事項ごとに事務局から説明を行い、委員から意見等をいただいた。 【主な意見等】 (1) 第二次健康もりや21計画令和3年度取組実績について ・「栄養・食生活」目標項目の1日の食塩摂取目標量が多いのではないか ⇒二次計画を策定した当時の目標値が記載されています。今現在は男性7.5g、女性6.5gが目標値となっています。策定時より摂取量は下がっていますが、目標値には達していない現状です。 ・健康づくり支援店はコロナで廃止になったのか。 ⇒新事業「いばらき美味しおスタイル店」の開始により廃止となりました。 ・新事業にも減塩は含まれているか。 ⇒減塩、野菜、カロリー等条件を満たす店舗が登録可能です。 なお、「健康づくり支援店」の登録店は市内に2店舗ありましたが、「いばらき美味しおスタイル店」の登録店は、現在のところ市内にはありません。

(2) 第二次守谷市食育推進計画令和3年度取組実績について

- ・減塩などの食生活改善事業は、開催されていることを知らない方が多くいると考えられるため、周知に努めることが重要だと思う。
- ・高齢者は移動手段がない方がいるので、公民館や自治会集会所など各地区で開催できたら良いと思う。
- ・出前サロンで、食生活改善事業が出来たら良いのではないかな。

⇒事業の周知方法及び開催場所について、より良い方法を検討していく。

- ・大人になってから食生活を変えることは、実際のところとても難しい。離乳食から続く幼児期の食事が重要なので、保護者に伝える方法を考えていくこと必要だと思う。

(3) いのち支える守谷市自殺対策計画令和3年度取組実績について

- ・自殺の原因は把握しているか。

⇒令和3年度の報告(7名)では、健康問題2件経済・生活問題2件不詳3件その他1件となっています。

- ・自殺者の年齢等はどうなっているか。

⇒令和3年度報告では30代が3名、40代が2名、50代が1名、60代が1名。その内無職が5名。

- ・いじめなどに悩んでいる人は、どこにも相談できずにため込んでしまう。相談できる場所を周知するとともに、周りが発見できる体制や仕組みを作っていくことが重要だと思う。

(4) 第三次健康もりや21計画について

- ・新型コロナ感染を心配する高齢者はまだ多くいるため、地域行事などで高齢者と子どもが一緒に何かをやる機会を設けることが難しいなど、計画を進める上で困難な状況が続いている。
- ・コロナ禍であっても、必要な事業や行事は、感染対策を講じた上で開催していくべきだと思う。

⇒市としても、必要な事業は実施していきたいと考えています。生後3か月から5か月の子と親を対象とした子育て教室の1期ごとの開催回数を、今年度から1回から2回に増やすなど、コロナ禍においても拡充を図っているものもあります。

5 閉会